

平成23年度 学校心臓検診集計結果報告書

静岡県医師会学校保健対策委員会 学校心臓検診結果検討小委員会

委員長	上田	憲	(静岡市静岡医師会)
委員	龍神	美穂	(沼津医師会)
	渡邊	正規	(富士市医師会)
	表	信吾	(静岡市静岡医師会)
	大川	雅龍	(榛原医師会)
	井上	康夫	(浜松医師会)
	深澤	ちえみ	(富士宮市立病院)
	田中	靖彦	(静岡県立こども病院)
	岩島	覚	(浜松医科大学医学部附属病院)
	紀平	幸一	(静岡県医師会)

※この報告書は静岡県医師会ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shizuoka.med.or.jp/child/index.html>

平成23年度 学校心臓検診集計によせて

平成23年度の学校心臓検診の集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。

いつもながら面倒な集計作業に快くご協力くださった学校長・養護教諭の諸先生、県および市町教育委員会、郡市医師会ならびに関係の諸先生方に深謝申し上げます。

また、精検・追跡調査表の記載に貴重な時間をとってご協力いただきました精密検査担当医療機関の先生方にも厚く御礼申し上げます。さらに、再調査のお願いを申し上げたことに対しまして、ご丁寧に返信をいただいた先生方にも重ねて御礼申し上げます。

検診結果に関する再調査については、学校心臓検診結果検討小委員会（以下、本委員会）の立場が不明確なこともあり、本年度も必ずしもスムーズに行われたとは言えない結果でした。平成23年度に実施した静岡県教育委員会学校教育課と静岡県医師会学校保健部との意見交換会において、本委員会が取り組んでいる検診結果の検討を含め、学校検診に関わる全ての実施主体者は県・市町教育委員会である点を再確認すべきことを静岡県教育委員会に対して申し入れ、協議を重ねてきています。未だ結論には至っていませんが、協議の結果、県・市町教育委員会と本委員会の取り組みの位置づけが明確になれば、今後の事業がより円滑に進むものと今後の協議に期待をしております。

静岡県では、心電図による学校心臓検診は約30年前から実施され始め、県医師会による県全体の検診結果の集計作業は20年前頃から行ってまいりました。集計を始めた初期には検診結果の判定基準が統一されておらず混乱もありましたが、昭和62年に日本学校保健会から発行された『心疾患児童管理指導のしおり（学校・校医用）』、その後、平成14年度に改定された『心疾患児 新・学校生活管理指導のしおり』を活用し、県下の検診の精度管理に当たってきました。そして、毎年の検診でどのような疾患（所見）が発見され、どのように管理されたかを集計してご報告してまいりました。

以下に、本年度の集計結果に関するコメントを述べさせていただきます。

なお、小学校4年生については、実施自治体が少し増えたものの79.9%と未だ全県下で実施されていないため、参考データとしてコメントの対象にはなっていません。

一次検診の総受診率は99.8%で例年と同率で良好でした。未受診者総数は昨年度の177人から少し減少して161人ですが、主治医受診者が6人いるのでまったく検診を受けていないのは155人となります。不登校などの長期欠席者がほとんどを占めるのではと考えますが、現時点では確認も対応も出来ていません。

一次検診者のうち要精検者は受診者の2.9%と昨年度と同じでした。要精検者のうち実際に精密検査を受けているのは91.3%と昨年度の89.3%より2%増加し90%を越えましたが、未受診者は226人に達します。うち119人は既に医療機関で経過観察が行われていて、学校生活管理指導表が集計報告書の提出期間に間に合わずに未受診扱いになったのかも知れません。ただし、本検診は学校入学年度に行われているので、その学校における運動管理の指標となる学校生活管理指導表の提出は不可欠と思われます。残りの107人は精密検査を受けていないと考えられ、安全に学校生活を送るため、特に運動に関する管理が学校でどうなっているのか危惧されます。学校管理下の事故を避けるためにも、管理漏れは極力なくしていく努力が必要と考えられます。静岡県教育委員会との意見交換会の場でも今後、注意を促したいと思います。

精検受診者のうちの要管理者総数は862人と783人から少し増加して、一次検診受診者数の0.96%と少し高率となりました。

要管理者987人（精検未受診者等を含む）の内訳は、

I. 「器質異常」の新規発見者総数は40人です。主な疾患として、本年度は10人の心房中隔欠損症（ASD）が見つかっています。2人の小学生に加えて中学生が4人、高校生が4人発見されていますが、年長になると心音が聞こえにくくなるので、内科検診の時に検出する事は困難になります。不完全右脚ブロック所見がある場合は、精密検診でASDのチェックが大切ですが、心雑音がはっきりしないなど聴診所見が非典型的な場合もあるので、一度はエコー検査で確認しておくことが望まれます。その後は検診調査票の記載を参考にしてエコー検査は不要になります。その他にも小1で心室中隔欠損症が1人、僧帽弁逸脱症が小1で1人、中1で1人、高1で5人診断されています。また、心筋症は肥大型が高校生に1人発見され、既往の6人を含めて合計7人（うち肥大型が6人）でした。突然死につながる可能性があり、常に注意すべき疾患と考えられます。

II. 「心電図・心音図異常」の新規の要管理者は442人でした。多いものは例年どおり心室性期外収縮です。単源性の要管理者228人（小1：66人、中1：118人、高1：44人）はまず問題のないものですが、多源性連発等11人、

心室頻拍症1人に関しては注意が必要です。

1度、2度の房室ブロックによる要管理者が15人（小1：1、中1：4、高1：10）と昨年の28人から大幅に減少しました。1度の房室ブロックは運動負荷でPRが正常化すれば管理不要に、2度の房室ブロックもWenckebach型では運動負荷により正常伝導になれば管理不要となるものです。本年度はこの基準が守られて不要な管理者が激減したものと思われます。単源性上室性期外収縮での要管理者19人（小1：1、中1：5、高1：13）も本来は管理不要と考えられますが、昨年度の23人からやや減少でした。右脚ブロックも18人（小1：5、中1：8、高1：5）が管理されていますが、エコー検査で心疾患が否定されれば、ほとんどの例で管理不要と思われます。これら以外では、PQ短縮（WPW症候群など）が小学生18人、中学生15人、高校生10人に認められました。QT延長は小学生6人、中学生27人、高校生7人に認めましたが、コンピュータ自動分析ではなくQTcの実測が大切と思います。中学生が突出して多いのですが、検診医の診断基準の相違が原因ではと考えられます。

Ⅲ。「既往異常」では新規に指摘されたのは2人のみでしたが、従来から指摘を受けて管理されている川崎病は小1で97人（うち1人は術後）、中1で8人、高1で1人の合計106人でした。

医療機関での精密検診では、器質異常の場合は心エコー、不整脈の場合は学校生活時の危険回避のため運動負荷テストを用いての判断が是非必要です。先天性心疾患や心筋症、危険な不整脈が見逃されることはなんとしても避けなければなりません。不必要な過剰管理もあってはならないと考えられます。

学校生活の場で運動が禁止されるE禁以上の管理は児童・生徒にとって大変なショックであり、E可でクラブ活動が許可されていても、管理が必要と指示されることだけでご本人およびご家族には大きなストレスとなります。

逆に保護者から「念のため来年も診てください」とか、「家族歴があり心配なので運動を制限したい」と依頼を受けることもあるかと思われます。このような場合は、精密検診の結果は基準にしたがって学校へ報告した上で、保険診療として受診機関へ再診させていただければ良いのではと考えられます。

また、精密検診を指示された中学生、高校生の多くが内科医を受診するかと思われますが、内科や循環器科は小児科に比べて病院勤務医の交代や新規開業が頻繁で、精密検診を行うに当たっても学校心臓検診の仕組みを十分にご存知ない先生が多いように思われます。学校心臓検診の趣旨を検診に関わる医師全員にご理解していただくことはなかなか困難ですが、新しくなった『しおり』の管理基準の理解がさらに深まり、心臓検診の質がより向上していくことを願ってやみません。

なお、本年度もしおりの管理基準と合致しないケースについては、本委員会で検討し再調査をさせていただきました。再調査対象件数は91件で昨年度の89件とほぼ同様です。そのうち、変更なし24件、未回答18件、その他1件、指導区分の変更は48件でした。48件のうちCからE可が1件（単源性上室性期外収縮+単源性心室性期外収縮）、DからE可が1件（単源性心室性期外収縮多発）、E可から管理不要が45件と大多数で管理が軽減されましたが、逆に管理不要からE可が1件（新規の単源性心室性期外収縮）ありました。

先生方のご協力で本年度も再調査件数は増加せず、再調査例でも変更なしは24件と昨年度の24件と同様でした。変更なしの例については、診断名に表しきれない心電図所見や主訴などからやむを得ない場合もあり、年度によって少々ばらつきが出る事はやむを得ないと考えています。

なお、再調査の際には『しおり』を同封していますので、学校心臓検診の趣旨と管理基準をご理解いただき、その上でご返答していただきますようお願いいたします。なお、指導区分の変更をお認めいただいた患者さんにつきましては、指導区分の変更が速やかに行われますよう、訂正をしていただいた学校生活管理指導表をご家族を通じて学校へ再提出していただくことを併せてお願いいたします。

なお、指導区分変更の内容については「別表」を参照してください。

静岡県医師会学校保健対策委員会
学校心臓検診結果検討小委員会 委員長 上田 憲

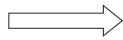
[お詫び]

平成23年度のまとめに際して、昨年度の「平成22年度の学校心臓検診集計によせて」に示した数字に誤りがあることが判りました。新規のものと既往のものが混合し、件数に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、正しくは集計表の数字にてご確認くださいませようをお願いいたします。

(別表)

平成23年度学校心臓検診「再調査」による指導区分の変更について

○再調査対象件数 91件



① 指導区分の変更あり	48
② 指導区分の変更なし	24
③ 未回答 (担当医異動等により返送されたものを含む)	18
④ その他	1
計	91

○指導区分の変更あり (48件) の内訳

1. C→E可 1件

所見名	件数
単源性上室性期外収縮・単源性心室性期外収縮	1

2. D→E可 1件

所見名	件数
単源性心室性期外収縮 (多発)	1

3. E可→管理不要 45件

所見名	件数
不完全右脚ブロック	7
完全右脚ブロック	4
単源性上室性期外収縮	4
Ⅱ度房室ブロック	3
川崎病	3
心室内伝導障害	2
洞性不整脈	2
I～Ⅱ度房室ブロック	1
一過性洞徐脈	1
陰性T波	1
右脚ブロック・異常T波	1
右軸偏位・I度房室ブロック	1
右軸偏位・完全右脚ブロック	1
右軸偏位・不完全右脚ブロック	1

所見名	件数
間欠性右脚ブロック	1
間欠性完全右脚ブロック	1
完全右脚ブロック・PR延長	1
高電位・心拡大	1
左脚前枝ブロック	1
左室肥大の疑い	1
三尖弁・肺動脈閉鎖不全症	1
三尖弁閉鎖不全症	1
上室性期外収縮	1
上室性期外収縮 (二段脈)	1
所見なし	1
ペースメーカーの移動	1
無害性心雑音	1
計	45

4. 管理不要→E可 1件

所見名	件数
初・単源性心室性期外収縮	1

※以下の集計結果は、再調査により当初の指導区分が変更されたこれらの結果を踏まえたものとなります。

平成23年度 学校心臓検診集計結果の概略

区分	在籍者数	一次検診受診者数	内、要精検者数	要精検者数の内訳							一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者数の内訳			精密検査未受診者数の内訳				一次検診未受診者総数	内訳	
				精密検査受診者総数	指導区分の内訳			精密検査未受診者総数	内訳			①主治医受診	②その他
小学校1年生	33,265	33,236	897	803	306	495	2		94	57	37		
中学校1年生	34,344	34,249	1,047	956	377	575	4	91	42	49	95	1	94
高等学校1年生	22,178	22,141	650	609	179	427	3	41	20	21	37	2	35
計	89,787	89,626	2,594	2,368	862	1,497	9	226	119	107	161	6	155

小学校4年生	28,090	28,060	722	660	267	391	2	62	31	31	30	1	29
--------	--------	--------	-----	-----	-----	-----	---	----	----	----	----	---	----

注) 小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は413校より報告をいただきました (実施率79.9%)

小学校1年生

注) 指導区分の「A」「B」「C」に該当する児童の報告はありませんでした。

項目	指導区分		B			C			D			E禁			E可			小計			合計
	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規			
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未			
器質異常	心房中隔欠損症 (ASD)												10	4	2	10	4	2	16		
	心室中隔欠損症 (VSD)										1					31	24	1	57		
	動脈管開存症 (PDA)												1	2		1	2		3		
	ファロー四徴症 (TF)										1					12			13		
	肺動脈弁狭窄症 (PS)										1		3	7	1	4	7	1	12		
	その他の先天性心疾患							2			7	2	20	14	9	29	16	9	54		
	僧帽弁逸脱症 (MVP)												1	5	1	1	5	1	7		
	心筋症-①肥大型 (HCM)								1			1						2	2		
	心筋症-②拡張型 (DCM)													1			1		1		
	川崎病後遺症																				
	その他の器質異常												1	2	2	1	2	2	5		
	器質異常 小計①							2	1		10	3	79	59	16	91	63	16	170		
心電図・心音異常	右軸偏位							1									1	1			
	左軸偏位											2		2	2		2	4			
	P波の異常													3			3	3			
	右心室肥大 (RVH)									1		2			3			3			
	左心室肥大 (LVH)												1				1	1			
	洞房ブロック																				
	I° 房室ブロック																				
	II° 房室ブロック													1			1	1			
	III° 房室ブロック																				
	房室解離													1			1	1			
	右脚ブロック												17	3	5	17	3	5	25		
	左脚ブロック (LBBB)													1			1	1			
	PQ短縮 (WPW等)													18			18	18			
	QT延長												1	6	1	6		7			
	異常Q波													2			2	2			
	ST・Tの異常													1			1	1			
	上室性期外収縮 (①単源性)													2	1	2	1		3		
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)														3			3	3		
	心室性期外収縮 (①単源性)													6	66	6	66		72		
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)														1			1	1		
上室性頻拍症 (SVT)													1			1	1				
心室性頻拍症 (VT)																					
その他の心電図異常											1		4	2		4	3	7			
心音図異常																					
心電図・心音図異常 小計②							1		1	1	1	21	17	114	22	18	115	155			
既往異常	川崎病 (MCLS)												1	96		1	96	97			
	検診等で異常追跡中												4	3		4	3	7			
	心疾患で経過観察中																				
	その他																				
既往異常 小計③												5	99		5	99	104				
家族歴														1			1	1			
総計 A (①+②+③)							2	2		11	3	1	105	175	131	118	180	132	430		
重複所見調整 B							1			2			32	14	15	34	15	15	64		
要管理者実人数 (A-B)							2	1		9	3	1	73	161	116	84	165	117	366		
指導区分別合計							0		0	3		13		350			366				

中学校1年生

注) 指導区分の「A」「B」「C」に該当する生徒の報告はありませんでした。

項目	指導区分			B			C			D			E禁			E可			小計			合計
	既往	新	既	新	既	新	既	新	既	新	既	新	既	新	既	新	既	新	既	新		
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未		
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)														13	8	4	13	8	4	25	
	心室中隔欠損症 (VSD)												1					33	31		65	
	動脈管開存症 (PDA)																	1			1	
	ファロー四徴症 (TF)																	7			7	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)																	1	6	1	8	
	その他の先天性心疾患								2					9				18	18	3	50	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)																		3	1		4
	心筋症-①肥大型 (HCM)										1											1
	心筋症-②拡張型 (DCM)																					
	川崎病後遺症																			2		2
	その他の器質異常										1								6	2	1	9
	器質異常 小計①										3	1			10				73	74	11	172
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位																	2	1		3	
	左軸偏位																	1			1	
	P波の異常												1							2	1	3
	右心室肥大 (RVH)																	1	1		2	
	左心室肥大 (LVH)																	3	2		5	
	洞房ブロック																					
	I° 房室ブロック																	2	3		5	
	II° 房室ブロック														1			3			3	4
	III° 房室ブロック																	1			1	1
	房室解離																					
	右脚ブロック													1		1		4	3	7	5	16
	左脚ブロック (LBBB)																					
	PQ短縮 (WPW等)																		20	15		35
	QT延長																		7	27		34
	異常Q波																					
	ST・Tの異常																		2	4		6
	上室性期外収縮 (①単源性)																		5	5		10
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)																		1	4		5
	心室性期外収縮 (①単源性)																	1	32	118	1	151
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)															1			2	2		5
上室性頻拍症 (SVT)																		1	2	1	4	
心室性頻拍症 (VT)																			1		1	
その他の心電図異常																		1	4		5	
心音図異常																						
心電図・心音図異常 小計②										1				2		3	5	87	198	8	296	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)																	8			8	
	検診等で異常追跡中																	1	1		2	
	心疾患で経過観察中													1				3	5	1	10	
	その他																					
	既往異常 小計③														1			3	14	2	20	
家 族 歴																						
総 計 A (①+②+③)										4	1			13		3	81	175	211	98	488	
重複所見調整 B										1				4		1	13	26	23	18	68	
要管理者実人数 (A-B)										3	1			9		2	68	149	188	80	420	
指導区分別合計										0				0						420		

高等学校1年生

注) 指導区分の「A」に該当する生徒の報告はありませんでした。

項目	B		C			D			E禁			E可			小計			合計			
	既往	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規				
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後				
心房中隔欠損症 (ASD)									1			5	3	4	6	3	4	13			
心室中隔欠損症 (VSD)												8	7		8	7		15			
動脈管開存症 (PDA)												1	1		1	1		2			
ファロー四徴症 (TF)			1			1						5			7			7			
肺動脈弁狭窄症 (PS)						1			1						2			2			
その他の先天性心疾患						3	1		3	1		7	7	1	13	9	1	23			
僧帽弁逸脱症 (MVP)												1	1	5	1	1	5	7			
心筋症-①肥大型 (HCM)	1		1								1				1	1	1	3			
心筋症-②拡張型 (DCM)																					
川崎病後遺症						1									1			1			
その他の器質異常												1	1	2	1	1	2	4			
器質異常 小計①	1		1		1			6	1		5	2		28	20	12	41	23	13	77	
右軸偏位																	2			2	2
左軸偏位											1			2	1		3	1			4
P波の異常																					
右心室肥大 (RVH)																	3			3	3
左心室肥大 (LVH)												1			2	1			2		3
洞房ブロック																	1			1	1
I° 房室ブロック									1					1	3			1	4		5
II° 房室ブロック						1		1						3	5	1	3	6			10
III° 房室ブロック														1				1			1
房室解離															1				1		1
右脚ブロック				1				2			1			2	1	5	6	1	5		12
左脚ブロック (LBBB)																					
PQ短縮 (WPW等)													1	10	10	1	10	10			21
QT延長					1			1			1			4	7			7	7		14
異常Q波																	1			1	1
ST・Tの異常						1											4			5	5
上室性期外収縮 (①単源性)											1	1	3	12	1	3	13			17	17
上室性期外収縮 (②多源性・連発等)														1	3			1	3		4
心室性期外収縮 (①単源性)												1	1	16	43	1	16	44			61
心室性期外収縮 (②多源性・連発等)												1		2	6			2	7		9
上室性頻拍症 (SVT)						1							1	2	2	1	2	3			6
心室性頻拍症 (VT)																					
その他の心電図異常	1														3	8	1	3	8		12
心音図異常																	2				2
心電図・心音図異常 小計②	1			1	1	2	3	1	2	2	1	3	9	49	119	16	52	126			194
川崎病 (MCLS)															1					1	1
検診等で異常追跡中																					
心疾患で経過観察中																					
その他																					
既往異常 小計③															1				1		1
家族歴																	2				2
総計 A (①+②+③)	2		1	2	1	2	9	2	2	7	3	3	37	70	133	57	76	141			274
重複所見調整 B	1			1		1	3		1	4		1	11	12	38	20	12	41			73
要管理者実人数 (A-B)	1		1	1	1	1	6	2	1	3	3	2	26	58	95	37	64	100			201
指導区分別合計			2			3			9			8			179			201			

参 考 小 学 校 4 年 生

小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は413校より報告をいただきました（実施率79.9%）

注）指導区分の「A」に該当する児童の報告はありませんでした。

項目	B		C		D		E禁			E可			小 計			合計		
	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規				
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未				
器 質 異 常																		
心 房 中 隔 欠 損 症 (A S D)												8	4		8	4	12	
心 室 中 隔 欠 損 症 (V S D)												24	24		24	24	48	
動 脈 管 開 存 症 (P D A)												4			4		4	
フ ァ ロ ー 四 徴 症 (T F)									2			1			3		3	
肺 動 脈 弁 狭 窄 症 (P S)												3	8		3	8	11	
そ の 他 の 先 天 性 心 疾 患			1			4			9			18	18		32	18	50	
僧 帽 弁 逸 脱 症 (M V P)													3	2		3	2	5
心 筋 症 - ① 肥 大 型 (H C M)	1												1		1	1	2	
心 筋 症 - ② 拡 張 型 (D C M)																		
川 崎 病 後 遺 症																		
そ の 他 の 器 質 異 常														1			1	
器 質 異 常 小 計 ①	1		1			4			11			58	58	3	75	58	3	136
心 電 図 異 常																		
右 軸 偏 位													1			1		1
左 軸 偏 位												2		1	2		1	3
P 波 の 異 常														1			1	1
右 心 室 肥 大 (R V H)			1												1		1	1
左 心 室 肥 大 (L V H)												1		1	1		1	2
洞 房 ブ ロ ッ ク																		
I ° 房 室 ブ ロ ッ ク																		
II ° 房 室 ブ ロ ッ ク										1			1			1	1	2
III ° 房 室 ブ ロ ッ ク																		
房 室 解 離												1			1			1
右 脚 ブ ロ ッ ク									1			3	3	4	4	3	4	11
左 脚 ブ ロ ッ ク (L B B B)												1		1	1		1	2
P Q 短 縮 (W P W 等)												3	19	6	3	19	6	28
Q T 延 長								1					5	18		5	19	24
異 常 Q 波																		
S T ・ T の 異 常	1														1			1
上 室 性 期 外 収 縮 (① 単 源 性)												1	1	5	1	1	5	7
上 室 性 期 外 収 縮 (② 多 源 性 ・ 連 発 等)														2			2	2
心 室 性 期 外 収 縮 (① 単 源 性)										1	1	1	19	54	1	20	55	76
心 室 性 期 外 収 縮 (② 多 源 性 ・ 連 発 等)											1		1	2		1	3	4
上 室 性 頻 拍 症 (S V T)												1	1	1	1	1	1	3
心 室 性 頻 拍 症 (V T)						1										1		1
そ の 他 の 心 電 図 異 常			1										1	2	1	1	2	4
心 音 図 異 常																		
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常 小 計 ②	1		2			1	1	1	1	3	14	52	98	19	53	102	174	
既 往 異 常																		
川 崎 病 (M C L S)													23			23		23
検 診 等 で 異 常 追 跡 中													3			3		3
心 疾 患 で 経 過 観 察 中									1			3	7		4	7		11
そ の 他																		
既 往 異 常 小 計 ③									1			3	33		4	33		37
家 族 歴														2			2	2
総 計 A (①+②+③)	2		3			5	1	13	1	3	75	143	103	98	144	107	349	
重 複 所 見 調 整 B	1		1						2			18	17	11	22	17	11	50
要 管 理 者 実 人 数 (A - B)	1		2			5	1	11	1	3	57	126	92	76	127	96	299	
指 導 区 分 別 合 計		1		2		6		15				275			299			